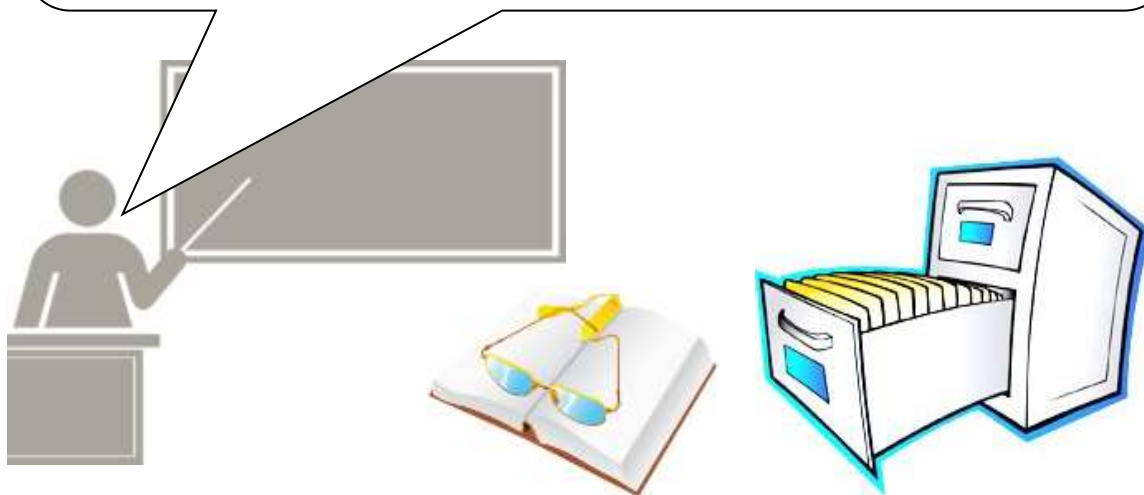


～大学の運営方針『年度計画』～

年度計画とは、大阪府立大学(以下、府大)がその年度ごとに組んでいる、様々な方面に対して掲げている計画のことをいいます。教育方法や成績評価、キャンパスプランに関することや、府大と大阪市立大学との統合に関することなど学生生活に大きく関係するものも含まれています。今回の『NASCA』では『平成27年度計画』の内容について学生生活に関係するものを一部抜粋して紹介します。



➤ 学士課程教育の充実に関すること

新たな副専攻を開設することや、元からある副専攻についてのアンケートを実施することで、学士課程教育の充実を図っています。またウェブ上のシラバスに、より詳しい情報を載せることで授業内外問わず学習に活用できるようにと考えています。

➤ 適切な成績評価等の実施に関すること

各学域のディプロマ・ポリシー(卒業認定や学位授与に関する方針)に基づき、育成すべき能力を明確化し、また適切な評価に結び付けるために、成績評価の基準への検討を進めます。

➤ 教育方法の改善への取り組みの強化に関すること

学域や研究科と調整した上で、教育内容の改善や教員の教育力の向上を図ります。また、成績データと教務データを組み合わせることで他の大学とも比較しつつ教育方法の改善を目指していきます。

➤ 学生支援に関すること

学生の修学支援のために授業料減免制度や奨学金制度について引き続き検討を進めます。また国際交流会館の運営について、管理会社や入居者の意見を聞いて実際に寮に住んでいる学生の生活に反映します。他にも学内のバリアフリー化なども進めていきます。

➤ 国際化に関すること

学生の国際化教育を強化するために、海外留学に関する説明会や、異文化交流事業などを定期的実施します。国際的に通用する研究能力を身に着けるために、海外留学を促進し、その際の費用を補助する制度を継続していきます。

➤ 学生納付金に関する目標

府大の授業料は、国立大学並みの水準を維持することとし、また、教育設備負担金などはキャンパスの整備などを考慮しつつ徴収します。

➤ 府大のキャンパスプランに関する目標

府大は、施設整備プランに基づいて計画的に学舎の改修整備を行っています。その際に利便性と安全性を備えた教育設備の充実や、老朽化した施設の改善などといった利用者である学生からの評価の向上を図っています。



他にも年度計画には、教職員組織の運営に関わることなどここでは紹介しきれなかったことがたくさん載っています。もし興味があれば、一度読んでいただくことをおすすめします。



年度計画はこちらのページから見るができます
<http://www.osakafu-u.ac.jp/info/disclosure/plan/Target.html#1>